

<p>(小倉地区事例)</p>	<p>12月 私は介護に対し今は特に負担は感じて居りませんが、年数が長いので（10年以上）自由になる自分の時間が出来ればと思います。泊る事は出来ませんが、どうしても外出が有る時は、娘に頼むのですが（別にいやな顔はしません）、娘の家庭も有る事だし、私が気を使うのでなるべく外出はしません。父は時間が（バラバラ）起きるものですから、病院とか施設等に行くのをいやがりますので、家の中だけで父の（本人）の為にも時々施設等で人々と交わった方がと思うのですが？ 昨年は介護度4、今年は介護度3になり、施設に一度だけ行った事がありますけど、3の点数は中途半端な所に有る様で、私も少し心配なところが有って、又行って下さいと言えません。 （束縛感8点 孤立感2点 充実感11点）</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 自立 【家族介護者】 男性・82歳 妻を介護</p>	<p>8月 自分自身が気が引き締まって少し成長したと思います。 （束縛感8点 孤立感6点 充実感11点）</p>
<p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 軽減 (小倉地区事例)</p>	<p>12月 家内が腰が悪いし、骨粗しょう症でいつもベッドにねたきりでしたので、炊事が出来ないので、ヘルパーが週5回来て、炊事掃除等して貰っていますので、大変助かります。 （束縛感8点 孤立感4点 充実感12点）</p>
<p>【要介護者】 痴呆なし・ADL 自立 【家族介護者】 女性・51歳 配偶者の親（舅、姑）を介護</p>	<p>8月 日常的に感じる強いストレスを思う時、介護される側より、介護する側の精神的なケアの方を充実して欲しいと切に思います。問11の行政やボランティアのサービス等の詳細はほとんど知りませんでした。せっかく介護の制度が整ってきても、それを受ける事を拒否する親は多いのでは？その世代の意識を変えなくては大きくは変わっていかない気がします。 （束縛感12点 孤立感15点 充実感10点）</p>
<p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 軽減 (小倉地区事例)</p>	<p>12月 記入なし （束縛感12点 孤立感15点 充実感4点）</p>
<p>【要介護者】 痴呆なし・ADL 援助 【家族介護者】 女性・55歳 配偶者の親（姑）を介護</p>	<p>8月 今日でちょうど一年間の介護してみて思う事は、日一日と元気になるのが目に見えて良かったと感じ、介護してそれが苦にならない。楽しく思える様になった事です。仕事が終わると速く帰らなくては自分を必要とされている事がとてもうれしく思えます。 （束縛感5点 孤立感2点 充実感16点）</p>
<p>束縛感 増加 孤立感 増加 充実感 軽減 (小倉地区事例)</p>	<p>12月 一年以上介護しておりますが、半日は介護、昼から会社（仕事）に出かける毎日です。午後からヘルパーさんをお願いしています。この時間が私のいきぬきになっている様です。ここ1年見て来て、元気になった事がなによりうれしく思います。一時は食も少なくて心配しましたが、介護していてよかったと思える現在です。又私には云いませんが、ヘルパーさんに嫁に感謝していると云っている事を聞き、もっと頑張るって大切にしたいと思います。 （束縛感10点 孤立感5点 充実感13点）</p>

<p>【要介護者】 痴呆なし・ADL 援助 【家族介護者】 女性・73歳 不明</p>	<p>8月 記入なし (束縛感11点 孤立感2点 充実感10点)</p>
<p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 増加 (小倉地区事例)</p>	<p>12月 〇区の福祉相談窓口、あまり対応が良くないと感じます。 (束縛感13点 孤立感4点 充実感14点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆なし・ADL 自立 【家族介護者】 女性・64歳 不明</p>	<p>8月 記入なし (束縛感5点 孤立感4点 充実感11点)</p>
<p>束縛感 増加 孤立感 増加 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>12月 少しずつ自分の体が動く事がつらくなって来る様で、先行きが思いやられます。 (束縛感9点 孤立感7点 充実感10点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 援助 【家族介護者】 女性・54歳 自分の親(母)の援助</p>	<p>8月 4月に母が脳梗塞で倒れて、2ヶ月は病院、退院してからの介護、日も浅い事もあり、今の所苦になることはありません。まったくの寝たきりでもなく、会話をしながらの毎日です。ただ気丈な母だけに右半身まひになってしまったことが情けないと言って涙することがあります。 (束縛感5点 孤立感2点 充実感11点)</p>
<p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>12月 母の介護をするようになって、半年すぎたかな。介護するって大変と思えば大変だけど、心の持ちようだと思います。この半年で母も杖をついて、トイレに行けるようになり(右手マヒがあるので少し介助してですけど)そんな母を見て、88才になるのに、すごい生命力を持ってる人だなあと感心しています。水曜日と土曜日週2回入浴に看護婦さんとヘルパーさんに来て頂いていますが、皆さんに良くしてもらっています。入浴があまり好きでない母ですけど、お風呂から上って来た顔はいい顔してて、ああ一気持ちよかったといいます。入浴させる方が上手なんでしょうね。大変だと思います。ケアマネージャーの方がとてもいい人で、良くして頂いて結構何でも話を聞いてもらっています。若い方なのに・・・美人だし。(束縛感5点 孤立感2点 充実感12点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 援助 【家族介護者】 女性・58歳 自分の親(母)を介護</p>	<p>8月 介護(呆け)することにより、優しくなり、又逞しくなりました。待つ事の大切さも学びました。 (束縛感6点 孤立感1点 充実感13点)</p>

<p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>12月 ケアマネジャーの仕事とは何だろうかと、最近特に思うようになりました。デイサービス、ヘルパーの予定を立てるだけならば、必要性を感じません。介護用品、住宅改修等、自分で調べ、さがし、等々。在宅介護(介護5)していれば、個人で探し回る時間がそんなに自由にはなりません。そのためのケアマネジャーだと思いますが、いかがでしょうか。問10の7、家族会の相談等受け付けております、又情報を集めては皆さんと共有しております。介護する事により、新たな交友関係がひろがりました。 (束縛感6点 孤立感0点 充実感12点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 自立 【家族介護者】 女性・79歳 夫を介護</p>	<p>8月 今は元気に出来ていますが、これからは不安です。 (束縛感8点 孤立感6点 充実感10点)</p>
<p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>12月 記入なし (束縛感4点 孤立感7点 充実感10点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 自立 【家族介護者】 女性・46歳 配偶者の親(姑)を介護</p>	<p>8月 できるだけ家族が介護することが理想だと思います。が一日中向き合っていると、お互いにストレスもたまることがありますので、リフレッシュの為にもデイケアなどに出かけてもらう方がいいと思う。施設が少ないので、入所待ちが多いのはどうかしてもらいたい。元気な方が急に要介護になった場合の対応に不安がある。 (束縛感3点 孤立感3点 充実感12点)</p>
<p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>12月 仕事が不規則なので、施設の方に迷惑をかけることが多々あります。ほとんどは朝晩しか顔を合わせることがありませんが、会うと喜んでくれ、安心してくれるのでこちらもうれしいです。施設や病院のデイサービスやショートで、笑顔でいいお世話をさせていただいているようで、本人の様子が安定しています。 (束縛感3点 孤立感2点 充実感12点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆なし・ADL 自立 【家族介護者】 女性・61歳 夫を介護</p>	<p>8月 私の場合は夫ですが、若い頃からの夫の生活態度に疑問を持ち、(私は不眠症になるくらい悩み果て)「こんあ関係では介護する側になってもされる側になっても辛いですよ」と夫には訴えてまいりました。今現実となって、介護そのものより、心理的な負担を実感しております。これは私の単なる愚痴話でしょうか？夫婦愛の美談の持ち主は、急には生まれないことがよく分かりました。遠く離れ住む娘達が理解してくれているのが救いです。 (束縛感10点 孤立感8点 充実感7点)</p> <p>12月 ショートステイを嫌がりますので、困ることがあります。自分がこんなことになったら、自らショートステイを望んで行こうと思います。回りを楽にしてやれると思うことで、救われるではありませんか・・・。 (束縛感9点 孤立感11点 充実感8点)</p>

<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 自立</p> <p>【家族介護者】 男性・73歳 不明</p> <hr/> <p>束縛感 変化なし 孤立感 変化なし 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>8月 記入なし</p> <p>(束縛感4点 孤立感6点 充実感9点)</p> <hr/> <p>12月 やはり大変満足している。</p> <p>(束縛感4点 孤立感6点 充実感9点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 自立</p> <p>【家族介護者】 女性・49歳 自分の親(母)を介護</p> <hr/> <p>束縛感 軽減 孤立感 変化なし 充実感 増加 (小倉地区事例)</p>	<p>8月 両親共介護が必要なのですが、住まいが〇〇と△△とはなれていて、目が行き届かないことが多かったのですが、母親に合わせて父が私の家にいつもいる様になり、助かりましたが、さらに近くの介護サービスセンターに入れてとても助かっています。私も仕事をもっておりまして仕事を休む事なく、日々過ごせています。まだ気がかりな父の事、日中話し相手がいないので、父も介護認定をうけてくれるといいと思っています。(父はペースメーターを入れていて調子がよくありません。)</p> <p>(束縛感13点 孤立感5点 充実感4点)</p> <hr/> <p>12月 私自身の親の事を現在お世話出来る事、とてもうれしく思っています。がしかし、元気だった頃の事を思うと、声があらくなる事で、自己反省する事が良くあります。ホームの方の姿から感じます。主人や家族の者への感謝の気持ちも出てくる事で、私自身の為にもなっている様です。実際仕事を持っていますので、仕事には随分迷惑がかかっています。(自分に言い聞かせながら、“仕事より親の事を”という毎日です。寝たきりになったら福祉の方にお世話になりたいと思っています。)</p> <p>(束縛感10点 孤立感7点 充実感10点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆なし・ADL 自立</p> <p>【家族介護者】 女性・35歳 配偶者の親を介護</p> <hr/> <p>束縛感 軽減 孤立感 変化なし 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>8月 まだ寝たきりじゃなく、食事もトイレも自分でできるので、介護というより、世間よりいいと思います。子供が小さいので、思うように対応ができないかも知れませんが、そこはデイサービスなど利用して、お互いがきまづい思いにならないよう、日々真心をこめて接していきたいと思います。</p> <p>(束縛感10点 孤立感7点 充実感7点)</p> <hr/> <p>12月 記入なし</p> <p>(束縛感7点 孤立感7点 充実感8点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 自立</p> <p>【家族介護者】 女性・58歳 配偶者の親(姑)を介護</p> <hr/> <p>束縛感 軽減</p>	<p>8月 食事すませているのに、一時間後には食べていないとか、夜中に大声を出し家中の電気をつけて騒いだり、お金をどこへ直したかわからなくなった時等、負担に感じた。デイサービスを週2回利用するようになって、まだ2ヶ月足らずですが、最近痴呆の方も落ち着き表情も穏やかになり、感謝の気持ちが言葉に出すようになったので嬉しく思います。</p> <p>(束縛感6点 孤立感3点 充実感11点)</p>

<p>孤立感 変化なし 充実感 軽減 (小倉地区事例)</p>	<p>12月 以前は薬づけ(壳薬)の状態でしたが、私が管理をするようになってからは、医薬だけですみ、かえって体調が良くなった事。デイサービスの日は喜んで用意をし、私が何でも気を付けてしてくれるから、有難いと言ってくれるので、最近は可愛くなって来ました。まだ排便排尿はしっかりしているので、私も大変有難く思っています。 (束縛感3点 孤立感2点 充実感8点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 援助 【家族介護者】 女性・65歳 不明</p>	<p>8月 記入なし (束縛感12点 孤立感2点 充実感14点)</p>
<p>束縛感 軽減 孤立感 変化なし 充実感 軽減 (小倉地区事例)</p>	<p>12月 介護はやってみないとわからないと思う。家族の中に介護が必要な者ができて、はじめてわかる事だと思う。経験のない人が介護の仕事につくべきではないと思う。(束縛感6点 孤立感3点 充実感10点)</p>
<p>【要介護者】 痴呆有り・ADL 援助 【家族介護者】 男性・78歳 妻を介護</p>	<p>8月 妻が発病して14年になります。年毎に身体不自由になり、介護保険制度発足の2年前より歩行も不安定となり、介護保険の申請の始まる前年10月一番に受付してもらい、その年の12月10日判定(要介護5)の認定(現在)4、(14、4)となり、週訪看1回、リハビリ2回、ヘルパー2回の在宅サービスを受けております。①介護保険制度が出来ていなかったら今日までの回復は見なかったと思う。それまであらゆる医療機関に受診していましたが、駄目でした。②在宅サービスを受けて2年3ヶ月余お互いに人間関係も出来、何事も言葉にすることなく、お互いにわかり合える様になりました。「信頼」これにより良いお仕事もしてもらえと思っています。③永い介護の中には行事、もようし事等出席出来ず、それぞれの方のあたたかい理解と協力におすがりしている様なこと大空に向って大声をあげた気持です。④今年2月17日未明、足不自由の為転倒、圧迫骨折をして5月7日まで安静の為自宅療養中5月13日、長期間の疲労や年齢的なことなどで心臓機能障害を起し入院(完全房塞ブロック、心臓ペースメーカーの植え込み手術をうけ、(身体障害者等級1級)退院現在に至っております。⑤妻の介護は親子では負担が大きい。長年連れ添う夫婦でなければ長期間出来ない。出来るものであれば一緒にお迎えがくれば良いがといつわらざる今の心境です。 (束縛感9点 孤立感1点 充実感13点)</p>
<p>束縛感 増加 孤立感 変化なし 充実感 変化なし (小倉地区事例)</p>	<p>12月 第一回目に詳しく書きましたが、今年2月圧迫骨折し、5月レントゲンの結果一応骨折に限っては完治しているとのことでしたが、後遺症がなかなか治らず、10月始め腎臓がおかしいとのことで、レントゲン撮影の結果、腎臓結石の大きいのが2個あり、それが骨折後の後遺症に関係しているだろうと、結石碎裂を受け11月腎盂撮影してきれいに除去されているといわれたが、骨折の後遺症が治らない現状です。 (束縛感4点 孤立感1点 充実感12点)</p>

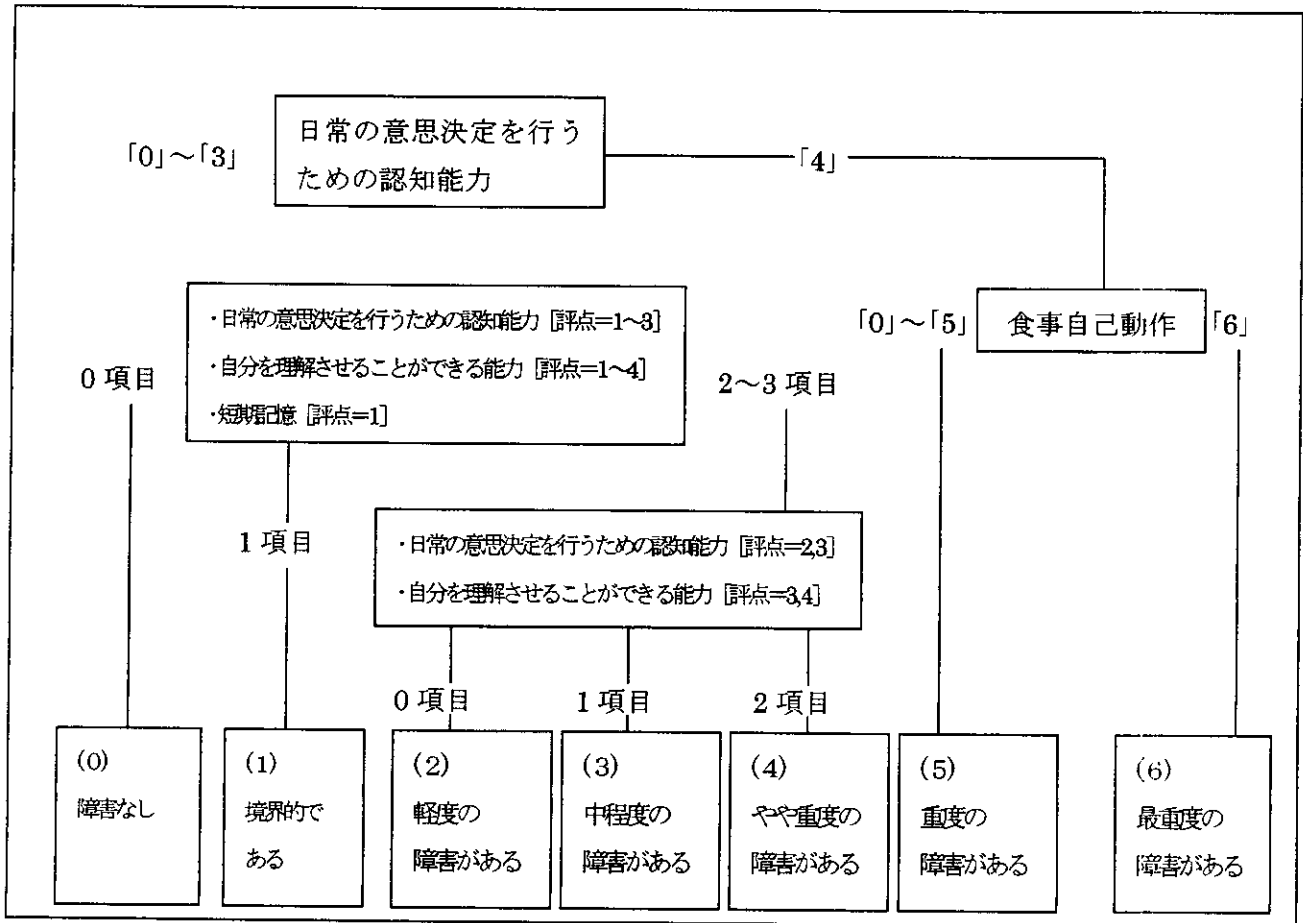
研究に使用した尺度一覧

資料1 認知評価尺度 Cognitive Performance

1 CPS 算出のためのアセスメント項目

<p>短期記憶 短期記憶が課題ない (5分前のことが思い出せる、あるいはそのように見える) 0. 問題ない 1. 問題あり</p> <p>日常の意思決定を行うための認知能力 どの程度自分の判断でその日の行動をうまくなしとげるか (たとえば 起床や食事するべき時間分かる、衣服を選ぶことができる、どんな活動をするか分かる) 0. 自立: 首尾一貫して理こみになった判断ができる 1. 限定的な自立: 新しい事態に直面したときにのみくらかの困難がある 2. 軽度の障害: 特別な状況において、判断力が弱く、合図や見守りが必要である 3. 中程度の障害: 常に判断力が弱く、合図や見守りが必要である 4. 重度の障害: 判断できないか、まれにしか判断できない</p> <p>自分を理解させることができる (伝達能力) どんな方法で表現してもよい</p>	<p>0. 理解させることができる: 容易に考えを表現できる 1. 通常は理解させることができる: 十分に時間が与えられていないと、言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難 本人の考えを引き出す必要はない 2. しばしば理解させることができる: 言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難 本人の考えを引き出す必要がある 3. 時々理解させることができる: その能力は具体的な欲求に限られる 4. ほとんどまたはまったく理解させることができない</p> <p>食事の自己動作 過去3日間にみられた食事の動作についてそれぞれにおけるすべての状況を考慮して評価する。自立して活動している場合も他者の励ましや観察・誘導の有無に特に留意 0. 自立 1. 準備のみ 2. 観察 3. 部分的な援助 4. 広範な援助 5. 最大の援助 6. 全面依存</p>
---	--

2. MDS-2. 1のCPS分類図



資料2 ADL ロングスケール

1. ADL 得点の算出方法：

MDS-HC の下記の7項目について記入された点を、0, 1=0、2=1、3=2、4、5=3、6、8=4と置き換えたときの合計点（0点～28点に分布）

2. ADL ロングスケールのアセスメント項目一覧

過去3日間に見られた食事や着衣等の日常動作について、それぞれにおけるすべての状況を考慮して評価する。（自立して活動している場合も他者の励ましや観察・誘導の有無に特に留意）

- 0. 自立
- 1. 準備のみ
- 2. 観察
- 3. 部分的な援助
- 4. 広範な援助
- 5. 最大の援助
- 6. 全面依存
- 8. 動作は3日間
間の間に一度もなかった

ベッド上の可能性	横になった状態からどのように動くか、寝返りをうったり、起き上がったり、ベッド上の身体の位置を調整する	
移乗	ベッドからどのように、いすや車いすに座ったり、立ち上がるか（浴槽や便座への移乗は除く）	
家の中の移動	どのように家の中（階段を除く）を移動するか（車いすなら、車いすに移乗したあと）	
上半身の更衣	どのように上半身の衣類（普段着や下着）を着たり、脱いだりするか。装具・矯正具やファスナー、セーターなどを含む	
食事	飲んだり、食べたりする（経管栄養を含む）	
トイレの利用	トイレ（ポータブルトイレ、便器や採尿器を含む）を使用する：便器への移乗、排泄後の始末、おむつの替え、人工肛門またはカテーテルの管理、衣服の整理を含む	
個人衛生	髪をとかす、歯を磨く、ひげを剃る、化粧する、顔や手を洗う（入浴、シャワーを除く）	

資料3 介護負担感・充実感尺度

1：得点の算出方法

★束縛感制約感得点

(1の回答得点+4の回答得点+7の回答得点+10の回答得点) - 4

→最低0点最高16点配点

★孤立感得点

(2の回答得点+5の回答得点+8の回答得点+11の回答得点) - 4

→最低0点最高16点配点

★負担感得点 = 束縛感制約感得点 + 孤立感得点

★充実感得点

(3の回答得点+6の回答得点+9の回答得点+12の回答得点) - 4

→最低0点最高

16点配点

2：質問表

問

以下のような状況について、現在のあなたはどの程度当てはまると思いますか？最もよく当てはまる番号に○をつけてください。

	全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	か な り そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
1. 介護に費用がかかって困る	1	2	3	4	5
2. 介護のことで家族や兄弟に遠慮したり言い争いしたりする	1	2	3	4	5
3. 介護の専門的なことについて相談できる人がいる	1	2	3	4	5
4. 本人のことが気になって熟睡できない	1	2	3	4	5
5. お世話するたびに、本人に嫌がられてつらい	1	2	3	4	5
6. 上手なお世話の方法を工夫したり学んで介護をしている	1	2	3	4	5
7. 介護がいつまで続くのか、先行きが不安だ	1	2	3	4	5
8. 本人の困った行動や性格の変化に振り回される	1	2	3	4	5
9. 介護の経験は人間として、私の成長につながった	1	2	3	4	5
10. 介護に時間が取られて外出や仕事が思うようにできない	1	2	3	4	5
11. 本人が介護サービス利用や通院を嫌がるので困る	1	2	3	4	5
12. 介護は私の役割だと前向きに受け止めている	1	2	3	4	5
13. 介護にうんざりして、落ち込んだり、カッとなったりする	1	2	3	4	5
14. 本人の介護を最後まで続けたい	1	2	3	4	5

介護負担感・充実感に関するアンケート調査

ご協力をお願い

この度、厚生労働省の研究助成を受け、ご利用の居宅介護支援事業所にご協力いただき「家族介護者の負担感・充実感に関する調査」を実施する運びとなりました。

このアンケートは、北九州市全域で、平成14年の夏と秋に2回実施され、あなたが介護しながら感じているお気持ち、普段の生活状況についてお尋ねします。

このアンケート結果は、担当のケアマネジャーが、あなたが介護している高齢者の介護サービス提供のあり方等に活用させていただきます。しかし個人を特定する形で公表することは一切ありません。何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、ご協力いただける場合には、同意書に、署名をお願いいたします。

ご回答後は、クリーム色のアンケート用紙と本紙を返信用封筒に入れて、3日以内にポストに投函してください。

何卒よろしくご協力いただきますようお願い申し上げます。

社団法人 北九州市医師会 会長 中間 翼

慶應義塾大学医学部 教授 池上直己

調査に関する質問・お問い合わせ先：

慶應義塾大学大学院医学研究科

調査担当：橋本栄里子

Fax 03-3225-4828

090-234-8326 (橋本)

同意書

私は、家族介護者の負担感・充実感に関する簡便な尺度開発と介護サービス利用に関する調査研究の調査趣旨を理解し、主任研究者に対し、2回の調査に協力することに同意します。

平成14年 ____月 ____日

家族介護者

氏名 _____ 印

介護負担感・充実感に関するアンケート

調査票番号

問1 あなたの性別は？

1：男性

2：女性

問2 あなたの年齢は？

_____歳

問3 あなたの就業状況は？

1：就業している（自営業・パートも含む）

2：就業していない

問4 あなたからみた介護を受けている高齢者の方との続柄は？

1：配偶者（夫・妻）

2：自分の親（父親・母親）

3：配偶者の親（舅・姑）

4：その他（_____）

問5 介護生活の中で、あなたの都合の悪いときなどに、介護を代わってくださる方はいますか？

1：いる

2：いない

問6 現在、介護サービスを利用して、介護の自分の負担は軽減されたと思いますか？

1：そう思う

2：そう思わない

3：わからない

問7 現在、あなたが利用している介護サービスの下記の内容にあなたは今、どの程度満足していますか？

	全く満足していない	あまり満足していない	どちらともいえない	かなり満足している	非常に満足している
1：現在利用している介護サービス	1	2	3	4	5
2：ケアマネジャー（介護支援専門員）の対応	1	2	3	4	5
3：訪問サービスのホームヘルパー・訪問看護婦の対応	1	2	3	4	5
4：通所サービスの施設職員の対応	1	2	3	4	5

1：現在利用している介護サービス	1	2	3	4	5
2：ケアマネジャー（介護支援専門員）の対応	1	2	3	4	5
3：訪問サービスのホームヘルパー・訪問看護婦の対応	1	2	3	4	5
4：通所サービスの施設職員の対応	1	2	3	4	5

問8

以下のような状況について、現在のあなたはどの程度当てはまると思われますか？
最もよく当てはまる番号に○をつけてください。

	全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	か な り そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
1. 介護に費用がかかって困る	1	2	3	4	5
2. 介護のことで家族や兄弟に遠慮したり言い争いしたりする	1	2	3	4	5
3. 介護の専門的なことについて相談できる人がいる	1	2	3	4	5
4. 本人のことが気になって熟睡できない	1	2	3	4	5
5. お世話するたびに、本人に嫌がられてつらい	1	2	3	4	5
6. 上手なお世話の方法を工夫したり学んで介護をしている	1	2	3	4	5
7. 介護がいつまで続くのか、先行きが不安だ	1	2	3	4	5
8. 本人の困った行動や性格の変化に振り回される	1	2	3	4	5
9. 介護の経験は人間として、私の成長につながった	1	2	3	4	5
10. 介護に時間が取られて外出や仕事が思うようにできない	1	2	3	4	5
11. 本人が介護サービス利用や通院を嫌がるので困る	1	2	3	4	5
12. 介護は私の役割だと前向きに受け止めている	1	2	3	4	5
13. 介護にうんざりして、落ち込んだり、カッとなったりする	1	2	3	4	5
14. 本人の介護を最後まで続けたい	1	2	3	4	5

問9 現在、あなたは医療機関へ受診していますか。

1 : 受診している

2 : 受診していない → 問10

<p>1 どの受診科を受診していますか？現在かかっている受診科すべてに○をつけてください。</p>	1 : 内科	8 : 婦人科
	2 : 精神科	9 : 眼科
	3 : 外科	10 : 耳鼻科
	4 : 整形外科	11 : リハビリ科
	5 : 脳神経外科	12 : 歯科
	6 : 皮膚科	13 : その他
	7 : 泌尿器科	()

2 通院頻度はどの程度ですか？ (受診している科すべてを合計し、1つに○をつけてください。なお、家族が薬を受け取りにいく場合も含んでください。)	1 : 月に1回程度 4 : 週2、3回程度 2 : 隔週1回程度 5 : 週4回以上 3 : 週1回程度
3 往診・訪問診療をどの程度受けていますか？ (1つ○をつけてください。)	1 : 月に1回程度 3 : 週1回程度 2 : 隔週1回程度 4 : 週2、3回程度 5 : 週4回以上

問10 あなたの余暇活動についてお伺いします。

スポーツ・学習研究・社会的活動・趣味
 娯楽・旅行行楽を行う頻度について、それぞれあてはまる数字に○をつけてください。なお、現在の介護状況を踏まえて回答してください。

	し な か つ た	年 に 1 日 — 4 日	年 に 5 日 — 9 日	月 に 1 日	月 に 2 ・ 3 回	週 に 1 回	週 に 2 ・ 3 回	週 に 4 回 以上
① スポーツについて (スポーツとは個人の自由時間の中で行うスポーツを対象にしており、仕事のためのスポーツは含みません。例えば、運動としての散歩や、野球、ゲートボール・水泳・体操・サイクリング・ジョギングなど。)	1	2	3	4	5	6	7	8
② 学習・研究について (学習・研究とは、社会人が仕事として行うものや学生が学業として行うものを除き、個人の自由時間の中で学習・研究するものをいいます。)	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 社会的活動について (社会的活動とは報酬を目的としないで、自分の労力や技術、時間を提供して社会及び個人・団体の福祉増進のために行う活動をいいます。社会奉仕的な活動や、社会参加活動などを含みます。)	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 趣味・娯楽について (趣味・娯楽とは、仕事・学業・家事などの義務的、目的のために行う活動ではなく、楽しみのために個人の自由時間の中で行うものをいいます。テレビを見ることは除きます。)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 旅行・行楽について (行楽とは日常の生活圏を離れ、半日以上かけて行うもの、旅行とは1泊2日以上にわたって行う観光旅行や帰省・訪問などすべての旅行を含みます。)	1	2	3	4	5	6	7	8

問 1 1 あなたは、下記のような行政やボランティアのサービスを、過去 2 ヶ月間に利用したことがありますか？利用したすべてのサービスの数字に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1：各区の保健福祉相談窓口
(心配ごと相談・保健福祉なんでも相談等) | 5：ボランティアのサービス
(例、北九州女性の会・腕自慢おまかせサービス・シルバークーひまわりサービスなど) |
| 2：介護教室・家族介護者の集い | 6：徘徊高齢者位置探索サービス
(徘徊高齢者 SOS ネットワークシステム) |
| 3：民生委員や福祉協力員など訪問や相談 | 7：家族会への相談・交流等
(例 ボケ老人をかかえる家族会福岡県支部・老いを支える北九州家族会など) |
| 4：電話による相談
(年長者生き生き情報ダイアル等) | 8：すこやか住宅修繕サービス |

問 1 2 介護保険全体（要介護認定、介護サービスの利用、介護保険制度、苦情受付対応等）について満足していますか？

- 1：とても不満
- 2：不満
- 3：普通
- 4：満足
- 5：とても満足

問 1 3 あなたの介護に対する思い（負担に感じることや介護してよかったと思うことなど）などありましたら、自由に書いてください。

最後までご回答いただきましてありがとうございました。返信用封筒にいれ、ポストに投函してください。

介護負担感・充実感に関するアンケート調査

2回目アンケートへのご協力をお願い

この度、厚生労働省の研究助成を受け、ご利用の居宅介護支援事業所にご協力いただき「家族介護者の負担感・充実感に関する調査」を実施する運びとなりました。このアンケートは、北九州市全域で、平成14年夏と秋に2回実施され、あなたが介護しながら感じているお気持ち、普段の生活状況についてお尋ねします。

このアンケート結果は、担当のケアマネジャーが、あなたが介護している高齢者の介護サービス提供のあり方等に活用させていただきます。しかし個人を特定する形で公表することは一切ありません。何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご回答後は、ピンク色のアンケート用紙と本紙を返信用封筒に入れて3日以内にポストに投函してください。

何卒よろしくご協力いただきますようお願い申し上げます。

社団法人 北九州市医師会 会長 中間 翼

慶應義塾大学医学部 教授 池上 直己

調査に関する質問・お問い合わせ先：

慶應義塾大学大学院医学研究科

調査担当：橋本栄里子

Fax 03-3225-4828

090-234-8326（橋本）

調査票番号

2回目用

介護負担感・充実感に関するアンケート

問1 あなたの性別は？

1：男性

2：女性

問2 あなたの年齢は？

_____歳

問3 介護生活の中で、あなたの都合の悪いときなどに、介護を代わってくださる方はいますか？

1：いる

2：いない

問4 現在、介護サービスを利用して、介護の自分の負担は軽減されたと思いますか？

1：そう思う

2：そう思わない

3：わからない

問5 現在、あなたが利用している介護サービスの下記の内容にあなたは今、どの程度満足していますか？

全く満足していない	あまり満足していない	どちらともいえない	かなり満足している	非常に満足している
-----------	------------	-----------	-----------	-----------

1：現在利用している介護サービス	1	2	3	4	5
2：ケアマネジャー（介護支援専門員）の対応	1	2	3	4	5
3：訪問サービスのホームヘルパー・訪問看護婦の対応	1	2	3	4	5
4：通所サービスの施設職員の対応	1	2	3	4	5

問6 介護保険全体（要介護認定、介護サービスの利用、介護保険制度、苦情受付対応等）について満足していますか？

1：とても不満

2：不満

3：普通

4：満足

5：とても満足